2014. Vol.39 冬号

アイ・シーたんなんだより
公立丹南病院

教育研修会の様子

なごみの里　文化祭

医療技術部の紹介

医療技術部長　津田　義孝

新年、あけましておめでとうございます。皆様には、ご健勝で輝かしい新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。丹南病院は新病院となり、2回目の新年を迎えることができました。これからも、地域住民の皆様の健康を守るため、さらなる医療の質の向上に努めていきたいと思います。

当院の医療技術部を紹介します。あまり聞きなれない名称だと思いますが、病院には、4つの部門があります。医局、看護部、事務部、そして医療技術部です。医療技術部には、病気の診断治療に必要な検査を担う、放射線室、臨床検査室、視能訓練室（眼科内）があります。そして、治療に大きく関わる、薬剤室、リハビリテーション室、栄養管理室、臨床工学室があります。合計7部門、47人で構成されています。

病院を受診した際には、医師が必要であれば、レントゲンや血液検査が必要と判断します。レントゲンやCTを撮影するのは放射線技師です。採血や血液検査、エコーを担当しているのは臨床検査技師です。患者さんが入院したら、多くの薬が必要となります。薬を取り扱うには、薬剤師です。歩行回復やことばの回復はリハビリテーション室が担当します。入院患者さんの食事や、個々の患者さんの適切なカロリー計算を行ったり、適切な栄養指導を行うのは管理栄養士です。透析の機器や手術で使用する機械を適切に動くよう、毎日チェックするは臨床工学士です。眼科内で、視力や視野検査など様々な検査を行うのは、視能訓練士です。職種はそれぞれ違いますが、医療技術部内で連携をとりあい、チーム医療の一員として、日々業務を行っています。

今後も、私たち医療技術部職員は、他部門と協力し、それぞれの役目を十分に発揮して、さらに地域皆様の期待に応えられるよう、各部門とも技術と質の向上に努めます。地域の皆様には、今後ともよろしくお願いします。

認定看護師活動紹介

慢性呼吸器疾患看護認定看護師

6階病棟
山田美佳

認定看護師には21分野あります。『慢性呼吸器疾患看護分野』は新しい分野であり、現在全国に115名が活動しています。私は、平成24年6月に資格を取得し、活動を始めました。

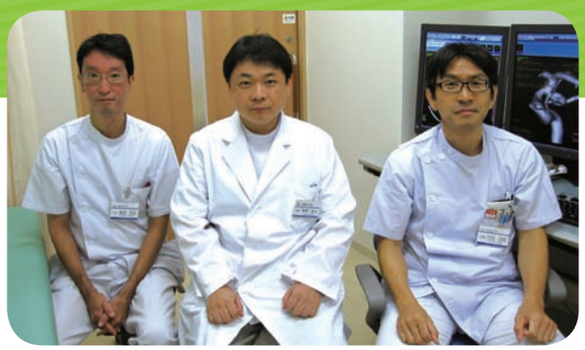
慢性呼吸器疾患看護認定看護師の役割は、慢性呼吸器疾患患者さんの安定期、増悪期、終末期の各病期に応じた呼吸器機能の評価及び呼吸管理、呼吸機能維持・向上のための呼吸リハビリテーションの実施、急性増悪予防のためのセルフケア支援です。

慢性呼吸器疾患には、慢性閉塞性肺疾患（COPD）や間質性肺炎、気管支喘息などがあります。COPDは、タバコなどの有害な空気を吸い込むことによって、空気の通り道である気管支や、酸素の交換を行う肺などに障害が生じる病気です。その結果、空気の出し入れがうまくいかなくなるので、通常の呼吸ができなくなり、息切れが起こります。COPDは長期間にわたる喫煙習慣が主な原因であることから“肺の生活習慣病”と言われています。全国に500万人以上の患者さんがいると推定されており社会的にも注目を浴びています。

COPDは、禁煙で防ぐことができる疾患ということで、私は、禁煙外来で禁煙の支援をさせていただいています。毎週木曜日の午後3時より完全予約制で行っています。禁煙外来では、禁煙を希望される方に対して、禁煙中のストレスの解消方法や禁煙補助薬によるかゆみ対策などお話を聞きながら、少しでも禁煙のお手伝いができればと思いながら対応させていただいています。また在宅酸素療法を行っている方に対しては、日常生活の注意点などの生活指導も行っています。

認定看護師として院内外の看護師に対しての呼吸ケアの研修を行うなどし、質の向上を図り、地域の皆様が安心して日常生活を送れるように日々努力を重ねていきたいと思っていますので、どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

脳神経外科の紹介



脳卒中診療医師
（左より脳神経外科 細田医師、神経内科 熊野医師、脳神経外科 竹内医師）

厚生労働省のデータによりますと、日本では年間約30万人が新たに脳卒中となり、超高齢社会を迎え、更に増加していくと考えられます。鯖江市を例にしますと、現在の人口が6万9千人弱で、年間約200人が新たに脳卒中になっていると考えられます。脳卒中の約7割が脳の血管がつまる脳梗塞ですが、できる限り早く治療を開始することが肝心です。

ごくごく早い時期の治療法としてtPA（ティーピーエー）血栓溶解療法があります。難しい名前の治療法ですが、つまった血の塊を溶かす方法です。一方で、溶かしすぎて出血するという危険性もあります。そのため投与後に厳重な管理が必要で、従来は福井市や越前市の病院まで行かないとこの治療が受けられませんでしたが、昨年4月より治療可能となりました。この治療法は非常に有効ですが、一つ問題があります。それは病気が起こってから4～5時間以内に使わないといけないということです。病院に到着後脳梗塞と診断がついた時には時間が超過し、この方法が行えないケースもありました。当院でtPA血栓溶解療法が可能になった情報がまだ知られていないようですので、今後も周知に努めます。

脳梗塞以外にも脳出血とくも膜下出血がありますが、いずれも早期治療が必要であり、当院ではそれらの病気に対する緊急手術を含め、対応可能です。救急部も充実しているため、脳卒中だけでなく、重症頭部外傷などの救急治療にも積極に取り組んでおります。その他、脳腫瘍、脊椎脊髄疾患など脳神経外科疾患全般に対して診療を行っております。3テスラ-MRI、64列マルチスライスCT、3次元脳血管撮影装置や最新型の手術顕微鏡および電気生理学的検査機器など、いずれも最新・最先端の検査手術機器を備えました。福井大学医学部附属病院脳脊髄神経外科と密に連携し、いずれも熟練した医師が手術を行いますので、安心して手術が受けられます。

丹南地域の脳卒中急性期治療を中心に、近隣住民の皆様のお役に立てるよう日々努力いたしますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

手術風景

公立　丹南病院

〒916-8515　福井県鯖江市三六町１丁目2-31

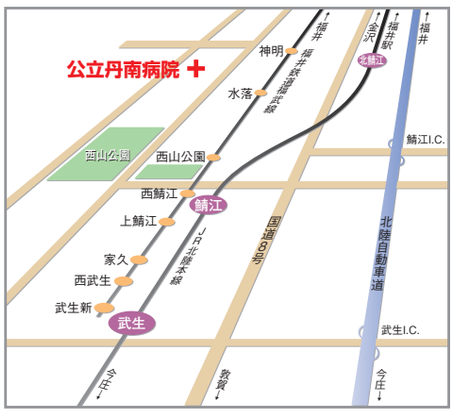
公立 丹南病院

TEL：0778-51-2260　FAX：0778-52-8620
ホームページ：http://www.jadecom.or.jp/jadecomhp/tannan/html/
メールアドレス：tannan-info@jadecom.or.jp

公立丹南病院　在宅事業部

居宅介護支援事業所　**訪問看護ステーション**

〒916-0021　福井県鯖江市三六町１丁目2-31
TEL：0778-52-2050　FAX：0778-52-2151
メールアドレス：tannan-zaitaku@jadecom.or.jp

通所リハビリテーションセンター　なごみの里

〒916-0021　福井県鯖江市三六町１丁目2-31
TEL：0778-51-5234　FAX：0778-51-8242
メールアドレス：tannan-nagomi@jadecom.or.jp